

【報告】

職人さんたちが案内

住まいの工夫を作り手視点で



蓄熱効果の高い土間空間。大きな柱は神山町産スギ材の大黒柱



木材の繋ぎ方の技術を実寸大模型を使って説明する大工さん



木質バイオマスを利用し、お湯をつくる仕組みを説明する設備屋さん

2020年3月29日(日)、大埜地の集合住宅にて住戸見学会が開催されました。町内外から52名の方が来場。住宅は、神山町産のスギ・ヒノキを使用しており、手刻みという昔ながらの加工技術で建てられています。大工さんをはじめ、工事に関わった職人さんたちは、住まい作りの工夫の数々を作り手ならではの視点で話をされながら、来場者を案内していました。ほかにも、実寸大模型を使った木材を繋ぎ合わせる仕組みの体験、太陽熱集熱装置や床下暖房の効果を体感できました。

来場者の声

地元の杉、ヒノキを出来るだけ多く使う為の色々な工夫に苦労があると思いました。時間の経過が楽しみです。

大工さんの手作りで気遣いを感じた。若い既婚者が楽しめる間取りで入居して生活力が増すと思います。

神山産の木材がたくさん使われており、温かみがありました。1Fの広い土間は温かく、住んでみたいと思いました。

大工さんだけではなく、ガス屋さん、電気屋さんが居てくれたので、様々な視点のお話が聞けて勉強になりました。